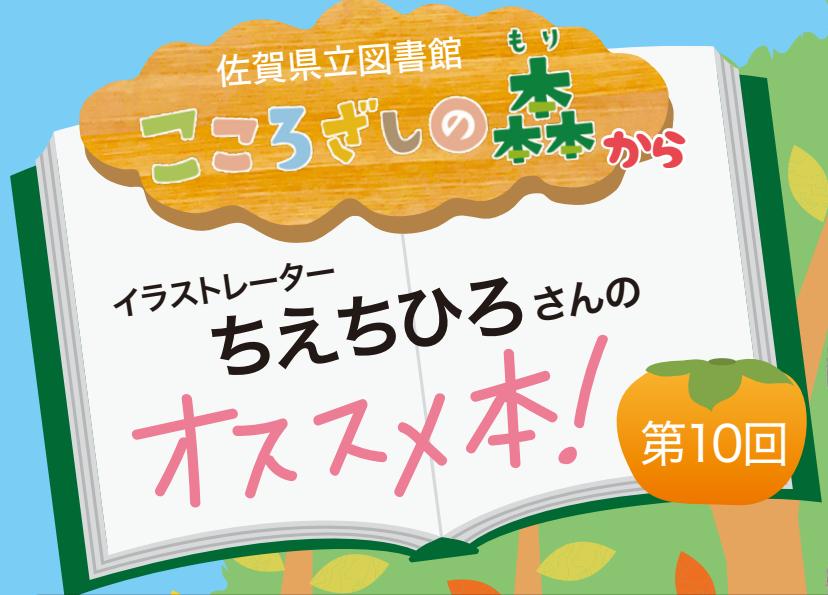




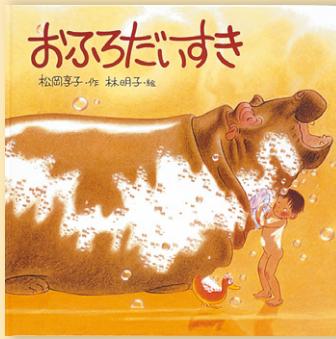
## みんなで読もう オススメ本



このコーナーでは、  
県内の著名人がおすす  
めする児童書の魅力を、  
直筆の推薦文とともに  
紹介します。



おふろがすきな子も、キレイな子も、  
きっとたのしめるよんです。  
こんなふしぎでたのしいことって  
じつは、まいにちりすぐそばに  
かくれていろのかもしません。



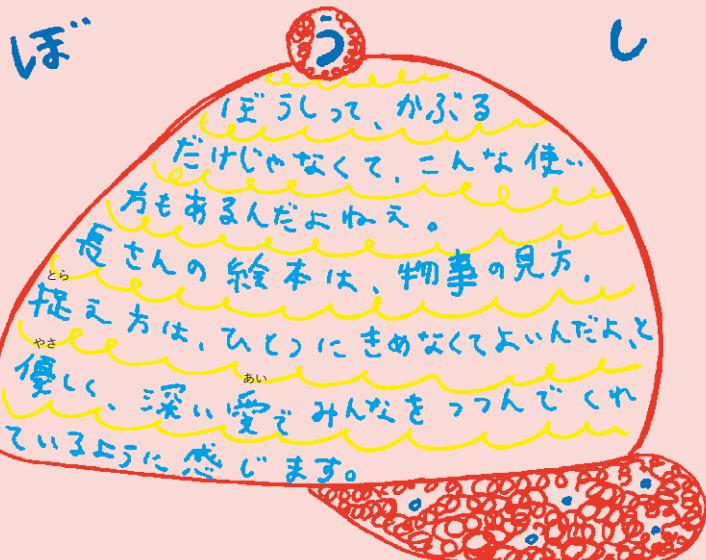
『おふろだいすき』  
作/松岡享子 絵/林明子  
福音館書店

ぼくはおふろが大好きです。ぼくはいつもあひるのプッカをつれて入ります。お湯でからだを流したら、プッカと一緒にお湯に入ります。「あつくもないし、ぬるくもないし、ちょうどいいかげん。」ぼくがからだを洗っていると、ざあーっと湯ぶねからカメが現れました。すると、ペンギン、オットセイやカバ、クジラまで現れました……。子どもの空想の世界を、楽しいおふろ時間でのびのびと描いた絵本です。



『ドリトル先生アフリカゆき』 作/ヒュー・ロフティング  
訳/井伏鱒二 岩波少年文庫

「沼のほとりのパドルビー」に住む名医ドリトル先生は、オウムのポリネシアから動物のことばを習い、世界中の動物たちから敬愛されています。そんなある日……アフリカのサルの国から、ひどい疫病が流行しているから救ってほしいという訴えを受けた先生は、アヒルのダブダブや犬のジップ、ブタのガブガブらをひきつれて冒険の航海に出発します。作者の手によるさし絵がまた楽しいです。ドリトル先生物語の第1作目。



『どうぶつあかちゃんえほん ぼうし』  
作/長新太 のら書店

これは、どこからとんできたぼうしを、次から次へ、勝手にみんな(動物たち)が、ためしにかぶってみる—そんな絵本です。絵本のページをめくるとき、ぼうしが、「スーッ」と飛んでいくところ、あるいはぼうしが「コロコロ」と、ころがっていくところを空想してください。そうして次のページを見てください。



## ちえちひろさんってどんな人?

千絵さんと千尋さんの姉妹ユニット。佐賀県生まれ佐賀県在住。絵本、イラスト、やきものを製作。千絵さんはロンドン芸術大学キャンバーウェル・カレッジ・オブ・アーツ イラスト科を主席で卒業。絵本『ポンチ』『ぐらぐらたん』『ゆかいなおやさいむら やまのおなか』などを出版。



佐賀県立図書館  
「こころざしの森」  
では、このコーナー  
で紹介した児童書  
と推薦文を展示  
しています!

